

授業実践 (1) 小学校5年生「気持ちよくすごすために」

1 主題名 みんな気持ちよく【内容項目C-(12)規則の尊重】

2 教材名 「気持ちよくすごすために」(自作)

3 教材のあらすじ

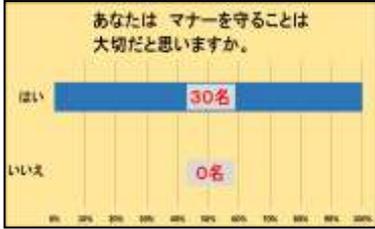
「校内での過ごし方」をテーマとし、話の内容を文章で示すのではなく、どのような状況なのか以下の順番で説明した。

- ① わたしの小学校では、校内で騒ぐ人が多く、静かに過ごしている人にとってはとても迷惑です。
- ② ある日、わたしが廊下の角を曲がろうとしたとき、校内を走り回っていた同じクラスのAさんがぶつかりそうになり、ヒヤリとしました。しかし、Aさんは何も言わずに行ってしまいました。
- ③ その日の帰りの会で、Bさんが「騒ぐ人には罰をつくれれば静かになるのではないか」と言いました。

4 ねらい

マナーを守ることの意義や大切さに気付き、マナーを守って気持ちよく生活していこうとする態度を育てる。

5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 児童の発言(・)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自己を見つめる</p>	<p>1 マナーに対する自分たちの意識を知る。</p> <p>◆事前アンケートの結果を示し、全体的な意識とその理由を確認させる。</p> <p>2 資料を見て問題を把握し、自分の考えを書く。</p> <p>【書く活動①】</p> <p>◆ワークシートに記入した後、つくるのがよいと思う児童は青、つukらないのがよいと思う児童は白にしてネームプレートを机の上に置かせる。</p> <p>◆全体的な傾向を見て、お互いの考えに違いがあり、判断理由を聞いてみたいという気持ちをもたせる。</p>	<p>○「マナーを守ることは大切だと思いますか」という質問で多かった答えは何だと思いますか。</p> <p>・「はい」という答えが多い。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> みんなも自分も気持ちよくなるから。 </div> </div> </div> <p>○「校内で騒ぐ人」をなくすために、あなたなら罰をつくりませんか。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <p>■ 罰をつくる(25名) □ 罰をつくらない(5名)</p> <p>○自分の気持ちと相手の気持ちという二つの視点を基にして、クロス表の上にネームプレートを貼りましょう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> 罰をつくるという考えが多いな。罰はつくらないほうがいいのにな。友達の考えの理由を聞きたいな。 </div> </div> </div>

<p>自分の考えを広げ、深める</p>	<p>3 自分と相手の立場で考え、話し合う。 【話し合い】 ペア(相手を見つけて)で</p> <p>◆友達の考えをワークシートにメモさせたり、話し合いで考えが変わった児童はネームプレートを移動させたりする。</p> <p>全体で</p> <p>◆ペアで意見を交流した後、全体で話し合い、再度ネームプレートの色や位置を確認させる。</p> <p>◆マナーを守れなかったときの気持ちと授業で考えたことを比較して考えさせる。</p>	<p>○違う考えの人や同じ考えでも遠い位置にネームプレートを貼っている人を見つけて話し合いをしてみましょう。</p> <div data-bbox="582 241 842 383" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>罰は必要と思ったけど、なくても守れるほうがいいね。</p> </div> <div data-bbox="847 241 1058 405" style="display: inline-block;"> </div> <div data-bbox="1102 241 1321 405" style="display: inline-block;"> </div> <p>○罰をつくる(つくらない)のがよい理由は何ですか。そのことで自分と相手はどんな気持ちになりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・罰があれば二人ともけがをしなくてよい。 ・罰を作らないと騒ぐ人はいなくなる。 ・罰を受けたくないと思うだけで本当に騒いだらいけないとは思わない。 ・罰があるから守れるようになるよりも、罰がなくても守れるようになるのがよい。 ・自分で意識すれば、罰がなくても守れるようになる。 <div data-bbox="1214 510 1426 667" style="display: inline-block;"> </div> <p>○みんなが気持ちよく過ごすために大切なことはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことだけでなく相手のことを考えること。 ・周りの人の気持ちを考えること。
<p>これからの自己を考える</p>	<p>4 これからの生活について考える。 【書く活動②】</p> <p>◆書く視点を意識しながらワークシートに記入させる。</p> <p>◆普段の生活の様子を電子黒板のスライドショーで視聴させる。</p>	<p>○今日の授業で学んだことや考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナーは大切だと分かっていたけれど守れていなかった。 ・周りの人のため自分のために進んでマナーを守っていきたい。 <div data-bbox="703 1115 932 1283" style="display: inline-block;"> </div> <div data-bbox="975 1115 1249 1283" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[書く視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだこと ・これまでの自分 ・これからの自分 </div> <p>○みんなの普段の姿を見てみましょう。</p>

[授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
 - ・最初に書く活動①を設定したことで、校内で騒ぐ人をなくすために罰をつかったほうがよいか、つくらないほうがよいかを選択し、その理由をこれまでの経験を踏まえて自分なりに記述させることができました。ただ、資料中の人物と自分を重ねることができず、資料中の人物の立場で考える児童が数名おり、更なる手立ての必要性を感じました。
- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
 - ・ペアや全体での話し合いにおいて、他者の考えに触れ、キーワードをメモすることで自分と異なる考えも受け止めさせることができました。
 - ・話し合いの中で、他者の異なる考えに理解を示すことはできていましたが、それを受け入れて自分の考えを更に深めることができた児童は少ないようでした。
- 「これからの自己を考えることができたか」について
 - ・事前アンケートの結果を示すことで、マナーを守れていないときの気持ちと守ろうとするときの気持ちの違いに気付き、書く活動②において、これからみんなが気持ちよく過ごすために自分にできることを考えさせることができました。